

氏名(本籍)	三谷 慶一郎 (石川県)		
学位の種類	博士(経営学)		
学位記番号	博甲第5249号		
学位授与年月日	平成22年3月25日		
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
審査研究科	ビジネス科学研究科		
学位論文題目	電子行政における公開情報の意図理解に関する研究		
主査	筑波大学教授	博士(工学)	津田和彦
副査	筑波大学教授	博士(工学)	吉田健一
副査	筑波大学准教授	博士(システムズ・マネジメント)	倉橋節也
副査	筑波大学教授	法学士	吉武博通
副査	徳島大学教授	工学博士	青江順一

論文の内容の要旨

研究は、インターネットなどを用いて公開されている行政文書の意図を理解することを目的に実施した研究である。

本論文は、6章から構成される。第1章では、行政文書に記載された事項の意図を理解する際の課題を明らかにし、研究目的を明示するとともに、論文構成を明らかにしている。

第2章では、日本における電子行政の推進経緯と現状を概説し、行政文書の意図理解に関する課題を3つのテーマへと絞り込んでいる。その上で、これらの課題を解決するために必要となるテキストマイニング等自然言語処理技術について概観し、各分野の先行研究について整理している。

第3章では、行政機関の発信情報に対する重要性モデルの構築を目的として、自治体ホームページの「注目情報」の推移を分析している。さらに、構築した重要性モデルを、実際の自治体ホームページの「注目情報」の挙動と比較することにより、その有効性を検証している。

第4章では、行政文書から同義異音語や、数値のあいまい表現の知識化を行っている。また、この知識を用いた効率的な情報検索方法を提案し、検索効率を向上させることを検討している。さらに、実際の検索作業を元に新たな情報検索方式の有効性を評価している。

第5章では、電子政府分野における行政文書の意図理解を行うために、政策計画書を分析し、あいまいな文中・文末表現の出現度合いと、実際に対象となった政策の成功率との関係を分析している。さらに、電子行政を円滑に推進している自治体と、うまく推進できていない自治体の、政策計画書中のあいまい表現を比較することにより、今回提示した仮説の検証を行っている。

第6章では、本研究の内容と成果を総括すると共に、今後本研究を継続するにあたっての方向性を示している。

審査の結果の要旨

近年、地方自治体や中央官庁などの行政機関が、インターネットなどを活用して情報公開されることが一

一般的になっている。しかし、文中にあいまいな表現、いわゆる「玉虫色の表現」が多いこと、公開される内容は計画書などは多いが、その結果文書が稀であることなどにより、公開情報の評価を行うことは困難であった。

このような状況の中、本研究では、公開されている行政文書の計画書と結果文書の対応を地道に収集し評価することで、公開情報の重要度や計画書の達成度を明確にした。さらには、計画書の文末表記と達成度に相関関係があることを導いている。これらの成果は、実験による検証を繰り返し実施しているものであり信頼性は非常に高く、特筆すべき研究成果と評価できる。

実際の行政文書では、取り扱う案件の緊急度、規模の大小など、考慮すべき要素が多々存在するなど、課題も残されているが、当該領域の新たな研究課題を位置づけたものと評価することも可能である。以上、一連の課題は残されているものの、本学位論文は著者の実務家としての問題意識に裏づけされたものであり、提唱したモデル・手法の発展性は、博士（経営学）を授与するに十分なものと判断する。

よって、著者は、博士（経営学）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。